

学校給食の充実

Point 地域の産物や郷土料理、行事食を、
生きた教材として学校給食に活用する取組

児童生徒参加型 ご当地給食（三重調理場）

学校の魅力やダーツをする様子を
視聴してもらいながら、各県の郷土
料理を楽しんでもらっています。



東京にダーツの矢が当たりました。
「しょっから汁」おいしかったです。



おにぎり給食（西部調理場）

おにぎりに貼っ
てるシールも
楽しみの一つです。



愛情がこもった大きな手作りおにぎりは美味しくて、完食できました。

ふるさとに触れ、ふるさとの
良さを感じる名前をみんなに
つけてもらいました。
体のパーツは、豊後大野の
食材できています。



菜力(さいか)ちゃん

(帽子) 椎茸
(頭) かぼす
(腕) 白ねぎ
(服) ピーマン
(靴) さといも

市学校給食
マスコット
キャラクター

ぶんぶん

(耳) なす
(鼻) くり
(首輪) ゴーヤ
(体) さつまいも



朝ごはんの大切さを
知って、朝食をとる人が
増えるとうれしいなあ。

効果的な食育発信

Point 食に関する指導のため、教職員への指導用資料や
ポスター・動画を作成・配布し、給食指導に生かす取組

学校・担任との連携

食育動画（月2回）

全校級に年1回以上訪問



栄養バランスのよい給食
一食分の献立を考えました。



食材について生産者さんの思いと
ともにわかりやすく伝えています。

栄養教諭と調理場職員によるオリジナル食育劇（動画）



R7「なば太郎」
テーマは朝食

給食指導として
視聴して
もらっています。



成果

- ・児童生徒への食に関する意識調査より、現状と課題を把握し取り組むことで、子どもたちが「食」をより身近なものと捉え、楽しみながら学ぶことができている。
- ・市健康セミナーや食生活推進協議会での情報交換、生産者への訪問・見学・取材、地域や保護者との意見交流など、交流連携を深めることができている。

悩み

- ・できるだけ地産地消で提供したいが、食材の確保が難しくなっている。地域の食材をたくさん食べてもらいたい。